

## 第3回 長与町あたらしい学校づくり検討委員会

### 【次第】

- 1 開会
- 2 開会あいさつ
- 3 議事
  - (1) 前回までの振り返り
    - ※ 資料参照
  - (2) 義務教育学校の教育内容について
    - 学ばせたい具体的な内容（行事等も含めて）について
  - (3) 義務教育学校に関する答申について
    - 答申の方向性やまとめ方について
  - (4) その他
- 4 閉会



日時：令和6年9月12日（木）14:00～16:00

場所：長与町役場 水道局 3階会議室

長与町新しい学校づくり検討委員会 第1回・第2回の議論のまとめ

	[意義, 教育の方針・目標等]	[教育の内容] (教育課程：カリキュラム, 行事等)	[教育の方法] (学年区分や接続, 教科担任制, リーダーシップ等)	[学校の環境, 地域コミュニティ等]
第1回検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●義務教育学校の具体例を示して</li> <li>●義務教育学校の意義から, 子供たちの豊かな学校生活を目指して</li> <li>●議論により義務教育学校の姿を具体化して</li> <li>●行政主導ではなく, 子供たちの教育をみすえた議論を</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●特別支援学級児童の環境変化に対する不安がある子供の体格差等を考慮した学校行事を</li> <li>●4-3-2制の導入は, 教科担任制?</li> <li>●教科担任制と学級担任制で, 取り組み方の違いが懸念される</li> <li>●小中間の連携で, 中1ギャップの軽減はメリット</li> <li>●指導の連続性確保は, 子供たちの不安を軽減できる</li> <li>●義務教育学校では, 1人の校長の方針で動ける</li> <li>●9年一体というのが義務教育の本来の姿では</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境変化に弱い子供にとって, 9年間同じ場所で過ごせるとメリットは大きい</li> <li>●教師が行き来できるのであれば, 今のままでもいいのでは</li> <li>●高田小中間の物理的な距離を考慮して, 一緒に活動を考えて</li> </ul>
第2回検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校教育目標を学校・家庭・地域のみんで創りたい</li> <li>●長与町でしかできない教育をポイントにすれば</li> <li>●義務教育学校には自由度があり, よい授業にも繋がるので, 新しいことをやったら</li> <li>●小中一体のメリットや不安はあるが, 創設から関与できるのであれば, 期待は大きい</li> <li>●義務教育学校を新しく創る面白さとともに, 先生方の腕の見せ所になるのでは</li> <li>●白紙状態から考え創ることに前向きな意見が多数 皆で新しい学校を創っていければ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●義務教育は, 小と中を分けずに一体的に行うのがよい</li> <li>●義務教育学校では教育課程の前倒し等の自由度があり, 様々な工夫が期待できる</li> <li>●品川区では, 早い段階で義務教育学校を設立し, 様々な工夫を盛り込んだ</li> <li>●保護者や地域の声も必要だが, 先生方が楽しく教育課程を創ることが重要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小と中が切れ目なく繋がっていけば, 子供の中の壁はなくなるのでは</li> <li>●小時代の様子を熟知する教員の存在は, 生徒の安心感に繋がる</li> <li>●中学生になると, 友達との会話に戸惑うことがあるようだ</li> <li>●中へ行くことがプレッシャーになっている子供たちにとって, 顔見知りの友が多くいることはとてもよい</li> <li>●小では4年生でもリーダーが務まるかの疑問に, 事務局から問題無いとの説明</li> <li>●4年生にどこまで求めるかが重要で, 環境や立場で変わる</li> <li>●義務教育学校での9年間を見通した, リーダーとしての活躍の場を</li> <li>●義務教育学校は, 教科担任制も柔軟に対応できる 無理に4-3-2制に分けず, 9年ひとまとまりと考えてよい</li> <li>●集団の一番上は自ずとリーダーになる 行事ごとにリーダーの役割を与えては</li> <li>●事務局説明: 小中教員の乗り入れが可能でメリットが大きい 入学・卒業式等での「ほそごう学園」の例を紹介</li> <li>●義務教育学校で往来が柔軟にできれば, 上級生への憧れ等の効果が期待できる</li> <li>●義務教育学校で, 小中教員が相互に学べ, 教員がワクワクする学校を</li> <li>●学年区分は, 4-3-2制等の枠にとらわれないで</li> <li>●全学年が主役, 校則なし, 制服なし等の新しい取組も</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●施設の分離に関しては, 将来的には同じ敷地内の施設一体型が考えられている</li> <li>●施設の分離に関しては, 当面の期間は分離となる</li> <li>●施設一体型はすぐにはできないが, 分離型でも教育課程の自由度や柔軟性が高まるならば, やらない手はない</li> <li>●事務局説明: 義務教育学校の多様なメリット</li> <li>●事務局説明: 高田地区の児童生徒数増加への対策は急務</li> <li>●コミュニティの力に優れる高田地区にとり, 住民の絆が深まるなら義務教育学校を進める方がよい</li> <li>●義務教育学校で, 大人も9年間の地域コミュニティづくりに携われる</li> <li>●事務局説明: 義務教育学校は, 新たなコミュニティづくりの核になる</li> </ul>







